

職場の健診に「風しんの抗体検査」を費用負担なしで導入できます！

風しんから社員を守るため 職場の健診を強化しませんか

日本では、昨年から「風しん」の流行が続いています。そのため、市区町村は、免疫を持っていない可能性が高い**40～57歳※の男性**を対象に、**無料で**「抗体検査」と「予防接種」を受けられるクーポン券を配布しています。

※ 2019年4月2日時点

この制度は**2022年3月末までの期間限定**です。

「風しん」から社員を守ることは、社会を守ることにつながります。ぜひ、職場の健診の際に社員がクーポン券を利用して「抗体検査」を受けられるようにご協力をお願いします。

40～57歳の男性が風しんの感染を拡大させる可能性があります



- 風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、**強い感染力**があります。
- 飛沫感染により、**症状が出る前から**ヒトからヒトへと感染が広がります。
- 成人が発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり関節痛になるなど、**小児より重症化**することがあります。また、合併症を併発する危険もあります。
- 妊娠初期の妊婦さんがウイルスに感染すると、生まれてくる**赤ちゃんの目や耳、心臓に障害**が起こる可能性が高くなります。

企業のご担当者への3つのお願い



～ 市区町村事業のため、企業側の費用負担はありません ～

1 健診機関に、風しんの抗体検査の実施可否を確認

多くの健診機関で、健診と同時に、本事業による風しんの抗体検査を実施できます。委託先の健診機関に実施の可否をご確認いただき、健診の委託内容に本事業を含めていただくようご協力をお願いします。

※対象者がクーポン券を利用して抗体検査を受けられるのは、本事業に参加している健診機関に限られます。

2 対象となる人に、抗体検査を受けるよう呼びかけ

定期健診の機会に、クーポンを持参して風しんの抗体検査を受けるよう、対象者の方への普及啓発をお願いします。

3 抗体がない人に、医療機関受診を呼びかけ

抗体検査の結果、十分な量の抗体がなく、風しんの定期接種の対象となる場合は、予防接種を受けるよう呼びかけをお願いします。

また、抗体検査や予防接種のために医療機関を受診しやすいよう、配慮をお願いします。



風しん対策の詳細情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

風しんの追加的対策

検索